

インターネットを使った支援募集【第2弾】を開始しました

「歌舞伎や『寅さん』、大切な日本の文化の宝箱を守る。」と題したプロジェクトで、昨年初めての試みとしてインターネットを利用して図書館の運営費の支援募集を行いました。

募集期間は50日間、目標金額は200万円でしたが、募集期間終了時には272人の方から、目標金額を上回る3,579,000円もの支援金を寄せていただきました。ありがとうございました。お蔭様で、平成24年度は図書館事業の規模を縮小することなく、皆様に図書館サービスを提供し、滞りなく図書館事業を行うことができました。

そして、今年も「第2弾」として、支援募集のプロジェクトを開始しました。昨年と同様の「READYFOR? (レディーフォー)」というクラウドファンディングサイトで展開中です。

プロジェクト名

【第2弾】歌舞伎や映画、大切な日本の文化を次世代に残す。

9月18日から11月6日までの50日の期間で、250万円が目標金額です。このうち、200万円は平成25年度の図書館の運営費です。これに加え、戦前期に松竹蒲田撮影所で発行された『蒲田週報』のデジタル化費用50万円を合わせて、合計250万円としました。

『蒲田週報』は大正から昭和初期に発行された貴重な映画資料で、利用頻度も高いものですが、それゆえ傷みも進んできています。

皆様のご支援の力をおかりして、これをデジタル化し、図書館として新しい一歩を踏み出したいと思っています。

ご支援いただいた方には金額に応じてリターン（お礼の品）を用意しました。

たとえば、5,000円以上のご支援をいただいた方には、当館オリジナル文庫本カバーをお送りします。この文庫本カバーは歌舞伎と映画の2種類のセットで、歌舞伎版は、今年4月の歌舞伎座新開場柿茸落公演で上演された『弁天娘女男白浪』の台本の表紙をデザイン。映画版は『男はつらいよ』第1作の完成台本の表紙をデザインしたものです。

10,000円以上のご支援をいただいた方には、文庫本カバーをさしあげるほか、当館に所蔵する歌舞伎台本や映画台本を保護する手作りの台本カバーに支援者のお名前を記載し、末永く保存します。歌舞伎座新開場柿茸落公演の演目を中心とした歌舞伎56作品。小津安二郎、木下恵介、池波正太郎作品、『釣りバカ日誌』『男はつらいよ』など、映画92作品のリストの中から、お好きな作品をお選びいただけます。

他にもリターンを用意してありますので、是非下記のサイトをご覧ください、ご理解ご賛同いただけるようでしたら、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

<https://readyfor.jp/projects/ootanitoshokan2>



また、ご友人などお知り合いの方にも、お広めいただければ、幸いです。

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 9月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『新薄雪物語 花見・詮議・広間・合腹』	○			
	『吉原雀』			○	○
	『新作 陰陽師 滝夜叉姫』	○			
	新開場記念歌舞伎座特別舞踊会			○	○
新橋演舞場	『元禄忠臣蔵 御浜御殿綱豊卿』	○	○		
	『男女道成寺』	○	○		
	『天衣紛上野初花 河内山』	○	○	○	○
	『沖津浪闇不知火 不知火検校』	○	○		
	『馬盗人』	○	○		
東京芸術劇場プレイハウス	『40カラット』	○		○	
日生劇場	『ANOTHER』	○		○	
松竹座(大阪)	『40カラット』	○		○	○
南座(京都)	『香華』	○		○	○
地方巡業(西コース)	『伊賀越道中双六 沼津』	○			
	『中村歌昇改め三代目中村又五郎襲名披露中村種太郎改め四代目中村歌昇襲名披露口上』			○	
	『連獅子』				
地方巡業(松竹新喜劇)	『丘の一本杉』	○			
	『御目見得口上』			○	
	『お種と仙太郎』	○			

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『シネマ歌舞伎 ヤマトタケル』	○		○		
『小鳥遊六花・改 ～劇場版 中二病でも恋がしたい!～』	○		○		

■ 映画プログラム ■

『許されざる者』 『凶悪』 『エリジウム』
 『そして父になる』 『R100』 『今日子と修一の場合』
 『ウルトラマンギンガ 劇場スペシャル』 『マリリン・モンロー 瞳の中の秘密』

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 書籍 ■

『日本古典劇』 小山弘志+鶴見誠 (著) さ・え・ら書房
 『舞踊集 徳穂』 杉昌郎 (監修) 東京堂出版
 『舞』 武原はん (著)、清水三郎 (撮影) 求龍堂
 『山寺宏一のだから声優やめられない! 声優・山寺宏一と30人の声の役者たち』 主婦の友社
 『日本の祭と芸能』 本田安次 (著) 錦正社
 『舞踊の美学的研究』 小寺融吉 (著) 春陽堂

(新規登録資料案内 書籍 続き)

『25th TIFF HISTORY BOOK IN CELEBRATION OF THE 25th EDITION 1985-2012』	ユニジャパン東京国際映画祭事務局
『絵画にみる時代の情景 絵師からのメッセージ』	中央区立郷土天文館
『勘九郎とはずがたり』(集英社文庫) 中村勘九郎 - 5世 (著)	集英社
『勘九郎日記「か」の字』(集英社文庫) 中村勘九郎 - 5世 (著)	集英社
『勘九郎ひとりごと 中村屋歳時記』(集英社文庫) 中村勘九郎 - 5世 (著)	集英社
『第24回東京国際映画祭公式記録 [2012年]』	日本映像国際振興協会(第25回東京国際映画祭実行委員会)
『日本劇映画作品目録 平成24年』	日本映画製作者連盟
『舞台芸術交流年鑑'10-'11』	国際舞台芸術交流センター (編)
『溝口健二・全作品解説10』	佐相勉 (著)
『大阪に東洋1の撮影所があった頃』	近代文芸社 ブレーンセンター

■ 他社演劇公演資料 ■

紀伊國屋サザンシアター	8月	『黒い雨 八月六日広島にて、矢須子』プログラム
	9月	劇団民藝『集金旅行』プログラム、台本 青年劇場『怒涛』プログラム、台本
紀伊國屋ホール	8月	人形劇団ブーク『オズの魔法使い』プログラム
国立劇場小劇場	8月	『第十五回 音の会』プログラム 『花形・名作舞踊鑑賞会』プログラム 『第十九回稚魚の会・歌舞伎会合同公演』プログラム
国立文楽劇場	8月	『第二十三回上方歌舞伎会』プログラム
シアターグリーンBOX in BOX THEATER	9月	(財)現代演劇協会創立50周年記念公演『夕闇』プログラム
テアトルエコー稽古場	8月	テアトル・エコー『バスタブで遊泳するあなたへ』プログラム、台本
天王洲銀河劇場	8月	『ドラムストラック』プログラム
東京芸術劇場シアターウエスト	9月	ペテカン『上手に笑えないまさこさん』プログラム、台本
東京芸術劇場プレイハウス	8月	劇団スイセイ・ミュージカル『フットルース』プログラム
東京芸術センター天空劇場	9月	あだち落語会 in 天空劇場第二回『春風亭一朝・春風亭一之輔親子会』プログラム
日本橋劇場	8月	『挑む 傾く者の繋ぐ技量 (かぶくものつなぐわざ)』プログラム
俳優座劇場	8月	木山事務所『ミュージカル はだしのゲン』プログラム、台本 オペラシアターこんにゃく座『オペラ 銀のロバ』プログラム
博多座	9月	『アマテラス』プログラム、ポスター
本多劇場	8月	『悪霊 下女の恋』プログラム、台本 加藤健一事務所『モリー先生との火曜日』プログラム
三越劇場 (日本橋)	8月	『ミュージカル GoGo! パンダ'72』プログラム NLT・三越劇場提携『喜劇 花はらんまん』プログラム、台本
明治座	9月	『石川さゆり特別公演』プログラム

■ 演劇雑誌 ■

『あぜくら』平成25年9月号	『ミュージカル』2013年9月-10月号
『文楽通信』2013年16号	『日本芸術文化振興会ニュース』平成25年10月号
『舞踊芸術』2013年10月号	『日本照明家協会誌』2013年9月号
『Confetti』2013年OCTOBER	『日本舞踊』65巻10月号
『伝統文化新聞』2013年(88号)	『大向う』平成25年10月号
『演劇ぶっく』2013年10月号	『ラ・アルプ』2013年10月号
『演劇界』2013年11月号	『SANZUI』Vol.2 2013 autumn
『悲劇喜劇』2013年10月号	『SePT倶楽部 information』
『邦楽の友』平成25年10月号	2013年2月号,8月号,9月号
『ジ・アトレ』2013年2月,2013年9月	『シアターガイド』2013年11月号
『歌舞伎 研究と批評』2013年(50)	『ステージぴあ』2013年9+10月号
『喝采』2013年12月	『テアトロ』2013年10月号
『国立演芸場公演ガイド』平成25年9月号,10月号	『座・高円寺』No.10
『メセナnote』2013年78号	

(新規登録資料案内 続き)

■ 映画雑誌 ■

『映画時報』2013年7月号,9月号
『ドラマ』2013年10月号
『映画テレビ技術』2013年10月号
『映画ビジネス』平成25年7月上旬号
『衛星劇場プログラムガイド』2013年10月号
『藝術学研究』2013年July 23号
『キネマ旬報』2013年9月下旬号,10月上旬号,
10月下旬号
『日経エンタテインメント!』2013年10月号
『ロケーションジャパン』2013年10月号
『SCREEN』2013年11月号
『シナリオ』2013年11月号
『シナリオ教室』2013年10月号
『シネフェックス』2013年No.30
『松竹(社報)』2013年(177号)
『TVガイド』2012年8/10号,8/17号,8/24号,
8/31号,9/7号,9/14号,9/21号,9/28号,10/5
号,10/12号,10/19号,10/26号,11/2号,11/9
号,11/16号,11/23号,11/30号,12/7号,12/14
号,12/21号,2012年12/22-2013年1/15号
『ザ・テレビジョン』2012年8/10号,8/17号,
8/24号,8/31号,9/7号,9/14号,9/21号,10/5
号,10/12号,10/19号,10/26号,11/2号,11/9
号,11/16号,11/23号,11/30号,12/7号,12/14
号,12/21号,2012年12/22-2013年1/14号

≫≫ 資料提供 (2013年8月~9月) ※許可を得た方のみ掲載しております

雑誌掲載

- 『MEN'S EX』2013年9月号 世界文化社
スチール写真「松竹大船撮影所正門」を、「中井貴一の好貴心vol.6 鎌倉に我がルーツを思う」の
記事に提供

プログラム掲載

- 東京フィルハーモニー交響楽団「こども音・楽・館2013」 2013年8月3日 東京オペラシティ
スチール写真「1960年訪米歌舞伎団出発風景」を、公演プログラムの記事に提供
- 「新橋演舞場九月大歌舞伎」 2013年9月1日より25日 新橋演舞場
『元禄忠臣蔵』昭和15年1月東京劇場初演台本の表紙と筋書を、公演プログラムの記事に提供

展示

- 歌舞伎座ギャラリー「歌舞伎 秋の彩り」 2013年9月12日~12月1日
第4期歌舞伎座の毎年9月~11月歌舞伎公演の筋書の表紙画像と、『紅葉狩』の戦前筋書の挿絵5カッ
トを、展示に使用
- 島根県立美術館「出雲の阿国展」 2013年9月27日~11月4日
奈良絵本「かふきのさうし」を展示

DVD関連

- DVD「小津安二郎名作セレクションボックスV」 松竹株式会社 2013年8月7日発売
歌舞伎映画『菊五郎の鏡獅子』を収録。小津安二郎生誕110年を記念し、旧版DVD-BOXを再構成
して発売
- 「あの頃映画松竹DVDセレクション『乾いた湖』『夕日に赤い俺の顔』『わが恋の旅路』『涙を獅子のた
て髪に』」 松竹株式会社 2013年9月25日発売
映画プレスシート『乾いた湖』『夕日に赤い俺の顔』『わが恋の旅路』『涙を獅子のたて髪に』を、それぞ
れのDVDパッケージに使用

第37回松竹大谷図書館所蔵資料展示

芝居における『富士山』展

展示期間:2013年9月26日～10月30日/於 閲覧室

富士山は古くから日本人にとって心の拠りどころとされ、多くの芸術作品でその秀麗な姿が描かれてきました。演劇の世界でも、歌舞伎から現代劇に至るまで様々な作品に富士山が登場します。今回の富士山特集第2弾の展示では背景画として、あるいは主題として富士山を取り上げた演劇作品を集めてみました。



歌舞伎座、南座の筋書の表紙に描かれた富士山

まずは舞台となっている東海道筋から富士山が見える芝居から。『伊賀越道中双六 沼津』では沼津棒鼻の茶店から千本松原へと物語が進み、背景の富士山の姿も少しずつ変化していきます。『道行旅路の花聾 落人』の舞台は、勘平とお軽が人目を忍んで落ちて行く途中の戸塚山中。背景の美しい富士と桜が二人の悲しい逃避行を見守ります。東海道といえば、芝居でもおなじみの、清水次郎長と弥次喜多道中ですが、やはり富士山を背景画として使用することが多いようです。『獅童流 森の石松』ではシンプルな大道具に合わせて一筆書のような富士山の背景画が使われました。

祝賀の象徴として描かれる富士山もあります。本年4月に行われた歌舞伎座新開場柿茸落興行での祝儀舞踊『壽祝歌舞伎華彩 鶴寿千歳』の背景には大きく金色の富士山が描かれ、歌舞伎座の新開場を寿ぎました。

江戸時代、初春狂言として上演された「曾我物」もゆかりの地として富士山を背景に多く使っています。今回は『當年祝春駒』『歌舞伎十八番の内 外郎売』『正札附根元草摺』『歌舞伎十八番の内 矢の根』の舞台面(大道具を記録した写真)を展示しました。

美しさやお目出度さを象徴するばかりではありません。芝居でも活火山の恐ろしい富士山を取り上げた作品として、宝永の大噴火で罹災し困窮する農民とそれを救済しようとする関東郡代を描いた『怒る富士』があります。また、平賀源内を中心に逞しく生きる江戸の町の住人たちを描いた『天下御免』では、度々噴火する富士山が事件の中心として描かれています。

最後に日本人にとって富士山と言えばやはり銭湯の壁絵を忘れるわけにはいきません。『心細い日のサングラス』は、銭湯を改装したデイケアハウスを舞台に繰り広げられる物語です。銭湯時代の名残で、ロビーの扉の上には大きな「男湯」「女湯」の文字があり、扉が開くたびに富士山の壁絵がちらりと見える仕掛けの大道具となっていて、プログラムの表紙にもちゃんと富士山が描かれています。

さて11月と12月は、『忠臣蔵』をテーマに展示を行います。次回も「映画における忠臣蔵」と「芝居における忠臣蔵」二ヶ月に渡っての企画を予定していますので、どうぞお楽しみに！

芝居における『富士山』展示資料一覧

- 1.『伊賀越道中双六 沼津』平成 13 年[2001]3月歌舞伎座上演 写真
- 2.『道行旅路の花聾 落人』平成8年[1996]1月歌舞伎座上演 写真
- 3.『猿若江戸の初櫓』平成 17 年[2005]3 月歌舞伎座上演 写真
- 4.『當年祝春駒』平成 19 年[2007]4月歌舞伎座上演 写真
- 5.『獨道中五十三驛 程ヶ谷さかい木の場』平成8年[1996]7月歌舞伎座上演 写真
- 6.『獅童流 森の石松』平成 18 年[2006]10 月新橋演舞場上演 写真
- 7.『歌舞伎十八番の内 外郎売』平成 23 年[2011]11 月新橋演舞場上演 写真
- 8.『正札附根元草摺』平成 21 年[2009]6月歌舞伎座上演 写真
- 9.『歌舞伎十八番の内 矢の根』平成 24 年1月新橋演舞場上演 写真
- 10.『壽祝歌舞伎華彩 鶴寿千歳』平成 25 年4月歌舞伎座 写真
- 11.「吉例納涼八月興行」(『森の石松道中記』他) 昭和 11 年[1936]8月歌舞伎座筋書
- 12.『天下御免』平成1年8月新橋演舞場 プログラム
- 13.『三国一夜物語』平成 14 年[2002]9月大阪松竹座 プログラム
- 14.『怒る富士』平成 20 年[2008]5月国立劇場大劇場 前進座上演台本
- 15.『心細い日のサングラス』平成 25 年[2013]1月俳優座劇場 プログラム

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2013（平成25）年9月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

松竹ブロードキャスティング株式会社

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

公益財団法人 昭和池田記念財団

個人

佐古孝子

どうもありがとうございます

■ お知らせ ■

出雲大社で約60年ぶりの大遷宮が行われるこの秋、島根県立美術館にて『“天下”のアイドルの系譜 出雲阿国展 初期歌舞伎図から寛文美人画まで』が11月4日まで開催中です。歌舞伎の祖といわれる出雲の阿国は、出雲の巫女と称して京都でかぶき踊りを興行したと伝えられています。こちらの展覧会には、日本各地の美術館から近世初期の風俗や芸能が描かれた貴重な資料が多く出品されますが、当館所蔵の奈良絵本「かふきのさうし」も展示されています。二週間ごとに展示される箇所が変わる予定です。会期中は記念講演会など様々な催しも企画されていますし、美術館からは、「日本の夕陽百選」に選ばれた宍道湖の見事な夕陽が楽しめるそうです。ぜひこの秋、訪れてみてはいかがでしょうか。（ま）

■ 編集後記 ■

金木犀の香りが漂う季節になりました。夜に家の近所をジョギングしていると、道すがら特に強く香りが漂うところがあり、好んでその付近を走っていたのですが、いつのまにか更地になり、金木犀もなくなってしまうしました。そのほかにはあまり香りが漂う場所もなく、ここ最近はどこぞに良い香りスポットがないかと探しつつ走っています。（あ）



- 利用案内 ●
 - 開館時間 平日午前10時～午後5時
 - 休館日 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期夏期特別整理期間
 - ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内およびウェブサイトに掲示します。
- 交通案内 ●
 - 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
 - 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分
- 入館料 無料 ●
 - 館内閲覧のみ